

一般財団法人水原フィラテリー財団

2019年度事業報告書

2019(平成30)年4月1日～2020(令和2)年3月31日

【概要】2019年5月1日、元号が平成から令和に変わりました。これにちなみ、「切手の博物館」ならではの特別展を開催したり、書籍の出版を行いました。また、「水原フィラテリー財団」として、郵便切手文化の普及、振興を後押しする助成事業にさらに力を入れました。

I. 継続事業

1. 資料の収集、保管、公開

郵便切手類及び郵便切手関連資料を収集、保管するとともに、展覧施設「切手の博物館」の展示室、図書閲覧室において公開しました。

(1) 資料の収集・保存管理

- ①日本及び世界各国の新切手を常時購入し、発行国別・地域別にレファレンス・コレクションとして整理・管理を行っています。
- ②図書収蔵委員会を月1回開催し、郵便切手関連資料の購入検討、新規受入図書の項目別クロス・インデックス作り及び収蔵図書の件名統一を続けています。
- ③郵趣文献類については、27名の方から296冊（単行本136冊、雑誌156冊、CD-ROM4点）が寄贈されました。（公財）日本郵趣協会（以下（公財）略）及び（株）日本郵趣出版発行の全刊行物、並びに郵趣団体発行の支部報や雑誌の寄贈も受けています。
- ④東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をレガシーとして未来に継続していくため、東京2020大会に関する郵便切手類を収集・保存しています。

(2) 企画展示・特別展示の開催

展覧施設「切手の博物館」において、以下の展覧会を開催しました。

※1階展示室の照明をLED化しました。

※台風19号の影響に伴い10月12日(土)・13日(日)を、また新型コロナウイルス感染症拡大防止のために2020年3月28日(土)・29日(日)を臨時休館しました。

①企画展示

1階展示室で、3ヵ月ごとにテーマを替えて行いました。展示内容及び広報については、企画展示委員会において協議しています。

会期	展覧会名	開館日数	観覧者数(名)
4月3日(水)～6月30日(日)	ウサギ!カワウソ!ハリネズミ!?	77	4,008
7月3日(水)～9月29日(日)	美しい昆虫～蝶々編～	77	3,024
10月3日(木)～12月27日(金)	光の世界	74	2,517
1月4日(土)～3月27日(金)	シロクマ、ペンギンもいる!氷の世界	72	2,417
合計		300	11,966

②特別展示

○3階展示室で、有料展を次の通り開催しました。

会期	展覧会名	開館日数	観覧者数(名)
5月25日(土)～6月2日(日)	平成切手と改元展	8	359
7月27日(土)～8月25日(日)	きて★みて★きって2019	26	923
11月1日(金)～11月10日(日)	切手でトリビア！古典芸能展	9	145
12月6日(金)～12月25日(水)	切手の博物館のクリスマス	17	874
2月1日(土)～2月14日(金)	切手の博物館でバレンタイン	12	482
合計		72	2,783

○3階展示室等で、無料展を次の通り開催しました。

4月27日(土)～5月5日(日)…皇室・王室切手展

9月7日(土)～9月15日(日)…第17回切手はり絵コンテスト作品展

2020年3月20日(金・祝)～22日(日)…マンガ・アニメと郵便の切手展

※以下の期日に豊島郵便局が臨時出張所を開設、小型印の押印サービスを実施しました。

5月18日(土)…国際博物館の日

5月25日(土)・26日(日)…平成切手と改元展

11月1日(金)・2日(土)…切手でトリビア！古典芸能展

12月7日(土)・21日(土)～25日(水)…切手の博物館のクリスマス

2020年2月11日(火・祝)・14日(金)…切手の博物館でバレンタイン

〃 2月23日(日・祝)…祝・令和最初の天皇誕生日記念

〃 3月22日(日)…マンガ・アニメと郵便の切手展

③特別展示[継続事業]

東京2020参画プログラム認証事業として、「きて★みて★きって2020」の企画・運営準備に着手、一部プログラム(切手はり絵)は今年度から開始しました。以下は申請時の日程です(東京2020オリンピック・パラリンピック開催延期に伴い、事業も延期)。

第1期：2019年10月～2020年7月…「体験！切手はり絵～東京2020オリンピック・パラリンピックを楽しもう！～」

第2期：2020年7月～9月…「体験！切手展～東京2020オリンピック・パラリンピックとつながろう～」

(3) 蔵書の公開

「切手の博物館」図書閲覧室では、蔵書を開架図書と閉架図書に区分し、一般の利用に供しています。閉架図書の利用は59名、203冊でした。

(4) 入館料の特典

「切手の博物館」の入館料に以下の特典を設けました。

①毎月23日・ふみの日(9月・2020年3月は休館日に当たるため24日(火))の入館料無料。

②厚生労働省が推進する「児童福祉週間」(5月1日(水・祝)～5月5日(日・祝))の小中学生入館料無料。(小中学生の入館者数39名)

③国際博物館会議(ICOM)及び(公財)日本博物館協会(以下(公財)略)が提唱する第17回「国際博物館の日」(5月18日(土))の入館料無料。(入館者数373名)

④バレンタインデー（2月14日（金））の女性の入館料無料。（女性の入館者数156名）

2. 展覧施設（切手の博物館）の運営管理

（1）来館者サービス

「切手の博物館」の来館者の満足度を高めるために、以下のサービスを提供しました。

- ①館内を余すところなく楽しんでもらうための「切手の博物館・攻略ガイド」をホームページに掲載。
- ②1階のパソコン・コーナーでは、企画展示のテーマに合わせて全国の風景印を紹介するほか、切手の博物館のホームページの閲覧サービスを提供。
- ③展示の観覧を助けるルーペの常設及びハンドライトの貸出し。（貸出人数105名）
- ④図書閲覧室では、国内外の新刊本・話題本などを紹介すると同時に、一部の書籍を販売。また、コピーサービスを提供。（コピー利用人数123名）
- ⑤すべての企画展示で、ホームページにプレゼント・クーポンを付けました。（交換人数647名）
- ⑥来館のたびにスタンプを押し、一定の数になるとプレゼントと交換できる「ウェルカム・カード」を発行。（プレゼントとの交換人数132名）
- ⑦小中学生向けに、展示を見て答える「切手クイズ」を実施。（参加者995名）
- ⑧来館記念写真が撮れるように、展示に即した「フォト・スポット」を設置。
- ⑨切手の博物館のイベント案内や新切手の発行案内などを掲載した情報チラシ「MAYっこ」を、毎月1回、ふみの日（23日）に発行。
- ⑩1・2階の入館料を日本の未使用切手で支払えるサービスを実施。（利用人数624名）
- ⑪1・2階の入館を対象とした「年間パスポート」を発行。（新規発行26名、期末在籍数47名）
- ⑫「自画像切手ポストカード」作成代金を70歳以上の来館者へキャッシュバック。（利用人数36名）
- ⑬英文パンフレットの配布。
- ⑭公衆無線LAN「Wi-Fi」サービスの実施。

（2）記念品の頒布

「切手の博物館」の来館記念品として、日本及び世界各国の郵便切手類並びにスーベニアグッズを販売しています。

（3）市民参画

- ①切手の博物館メンバー「MAY（メイ）」の会員を引き続き募集し、会員にはメンバーニュース「MAY」及び「受入図書リスト」を配布しました。期末の会員数は81名で、内訳はM（メジャー）メンバー50名、A（アシスト）メンバー28名、Y（ヤング）メンバー3名です。
- ②切手はり絵（切手の博物館内・出張）及び切手たんけん隊の補助役として、登録ボランティア制度を設けています。（期末登録者数4名）
- ③切手はり絵に使用する切手の区分には、一般ボランティア延べ39名の協力を得ました。また、近隣の高等学校ボランティア部部活動を受け入れ、切手の区分などを実施しました（3回）。

3. 普及啓発事業

（1）施設内活動

郵便切手文化に触れる楽しみを広げ、理解を深めてもらうために、「切手の博物館」館内で以下の活動を実施しました。

(3) 広報活動

- ①切手の博物館で開催の展覧会及び「体験！切手はり絵」をPRするチラシ等を作成し、近隣の施設、小学校などに配布しました。
- ②切手の博物館の企画展示、特別展示、イベントなどの情報を、ホームページ、フェイスブック、ツイッターを通じて発信しました。また、これらの情報をマスコミ各社（新聞・ラジオ・テレビ・出版社・Webサイトなど）及び関連施設（大学、団体、店舗など）へ広報しました。
- ③切手などに関するマスコミの照会・取材、また単行本や学習教材の挿絵用に切手を使いたいという申込みに、積極的に応じています。
- ④「郵趣」などの郵便切手文化の専門誌において切手の博物館の企画展示、特別展示などを案内するほか、日本郵趣協会主催の展覧会に協力するなど、広報に努めました。
- ⑤切手の博物館だより「MAYっこ」を1ヵ月に1回、豊島区の「子どもスキップ」などに送り、地域への広報に努めています。
- ⑥切手の博物館の入館料割引引換券の目白駅での常置や、(公財)日本野鳥の会などの団体の会員特典に協力したり、「さくら日本切手カタログ」に入館無料クーポンを付けるなど、来館者促進を企図しました。
- ⑦日本郵趣協会が発行する切手カタログなどに図版を提供し、専門出版物において財団名をPRしました。

(4) 他館との交流

- ①佐久市文化振興基金活用事業「日本郵便と歩んだ井出家五代と佐久地方通信史」（2019年8月31日～9月7日）に協力、2018年度開催の特別展の資料などを提供しました。
- ②I COM（国際博物館会議）京都大会（2019年9月）に際し、大会事務局より求められ、記念小型印の作成・申請について協力しました。
- ③「祝・令和最初の天皇誕生日記念」イベントにおいて、「皇太子徳仁親王結婚記念ボンボンエール」を学習院大学史料館より借用し、特別展示を行いました。

4. 学術調査研究事業

(1) 調査研究

- ①紀要編集委員会の査読を経て、研究者の調査研究成果を取りまとめた「切手の博物館研究紀要」（第16号）を発行しました。
- ②日本博物館協会主催の全国博物館長会議、東京都博物館協議会総会・日本博物館協会東京支部総会及び研修会に出席し、他館との交流を図るとともに、学術調査研究事業の質的向上に努めています。
- ③科学研究費補助金の指定研究機関として、体制整備等自己評価チェックリストの提出など諸手続きを行っています。

(2) 鑑定

日本郵便切手類の真贋の鑑定を鑑定委員会のもとに行い、39点の鑑定書を発行しました。

5. 顕彰事業

「第17回切手はり絵コンテスト」を開催しました。「きて★みて★きって2019」期間中に作品募集を行い、全応募作品255点を切手の博物館において展示するとともに、優秀作品には賞状並

びに記念品を授与しました。

6. 文化支援・助成事業

(1) 文化支援

- ①郵便切手文化活動の支援の場として、「切手バザール」(7回・2020年3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)及び「Otegamiフリマ」(日本郵趣協会と共催、4回)を開催しました。「Otegamiフリマ」では豊島郵便局が臨時出張所を開設、小型印の押印サービスを実施しました。
- ②日本郵趣協会主催の学術調査研究発表会などに3階展示室を提供し、公益活動を支援しました。

(2) 助成

- ①郵便切手文化の振興を図るため、日本郵趣協会主催の展覧会において、特別賞を寄贈しました(2件)。
- ②郵便切手に関する出版物(10件)、展示備品の整備及び国際文化交流事業に対して、費用の一部を助成しました。
- ③博物館の社会貢献活動の一つとして、1階エントランスに専用ボックスを置いて紙付き古切手の寄付を募り、集まった古切手は公益法人等に寄贈する活動を続けています。

II. その他事業

鑑賞・収集の対象となる日本及び世界各国の郵便切手類を、ミュージアム・ショップにて受託販売しています。

附属明細書(事業報告関係)

補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は省略する。